

平成24年度霧島市
「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果報告書



鹿児島県霧島市

生活環境部環境衛生課

平成24年12月



<目 次>

- 1 モデル事業の目的について・・・・・・・・・・P1
- 2 モデル事業について・・・・・・・・・・P1
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・P5
- 4 松久保俊明先生のワンポイントアドバイス・・P11
- 5 取組事例写真・・・・・・・・・・P13

1 モデル事業の目的について

地球温暖化対策を推進するためには、市民の理解と行動が不可欠であることから、市民が家庭等で取り組みやすい対策のひとつとして緑のカーテンの普及を図るために、平成21年度からモデル事業として実施しています。また、これまでのアンケート結果から地球温暖化防止以外にも環境学習、親子やご近所との会話、心理的な癒し効果など様々な利点があることがわかりました。

本アンケート結果は、市民の皆さんのアンケート結果を取りまとめたものです。

～緑のカーテンとは～

つる性の植物を窓際にはわせて遮光し、室温の上昇を抑制することにより、冷房で消費される電力量及びこれに伴うCO₂を削減し、地球温暖化を防止するとともに、ヒートアイランドを抑制することを緑のカーテンと呼んでいます。

2 モデル事業について

(1)参加グループ数

100グループ（募集定員：100グループ）

（家庭58、小中学校16、幼稚園2、保育園2、企業18、公共施設3、
児童クラブ1 計100グループ）

参考：平成23年度100グループ参加（募集定員：100グループ）

（家庭36、小中学校31、保育園5、企業17、公共施設11 計100グループ）

(2)募集期間

平成24年3月29日（木）から4月11日（水）

(3)説明会及び苗配布

平成24年4月21日（土） 午前10時から正午
国分シビックセンター多目的ホール

(4)説明会内容（敬称略）

苗の育て方講座・・・講師：国分中央高等学校園芸工学科 3年生8名

質疑応答・・・講師：松久保 俊明（国分中央高等学校園芸工学科教諭）

苗配布・・・1グループにつきゴーヤ苗4株・ヘチマ苗2株計6株配布

苗は、国分中央高等学校の生徒が育苗したものを配布しました。



プランター配布・・・1個/1グループ配布

NPO 法人緑のカーテン Project 九州提供



(5)配布後の取組など

4月25日・・・朝日新聞にモデル事業説明会の記事が掲載されました。

霧島市が地球温暖化対策として進めている「緑のカーテン」モデル事業の説明会が21日、国分シビックセンターで開かれた。市立国分中央高校園芸工学科の生徒や教諭が、ゴーヤやヘチマの育て方、緑のカーテンの作り方などを指導した。緑のカーテンは、つる性の植物を懸架にはわせて遮光し、室温の上昇を抑えることで、冷房で使う電力量や二酸化炭素(CO₂)の削減を図る。家庭や学校で取り組むことで食育や情操教育にも役立っている。市は2009年度から事業を始めた。今年度も緑のカーテンを採り入れてもらおうと、家庭や学校、企業などから100グループを募集。この日の説明会后、生徒たちが育てたゴーヤとヘチマの苗計6株が、センター前の広場で応募者に配られた。

初めて緑のカーテンに取り組むという女性(58)は「省エネにつなげたい」と思っていて応募した。うまくいけばゴーヤなどもおいしく食べられそう」と話した。

霧島市、モデル事業説明会
朝日 12.4.25

緑のカーテン 生徒ら指導

ゴーヤやヘチマの苗を配る生徒たち＝霧島市の国分シビックセンター前広場

4月30日・・・南日本新聞にモデル事業説明会の記事が掲載されました。

ゴーヤー、ヘチマ 緑のカーテンに 霧島市が苗配布

地球温暖化対策の一

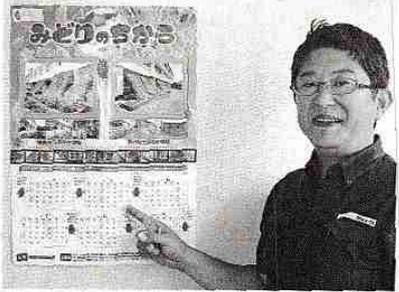


環として霧島市は21日、「緑のカーテン」に取り組み家庭や企業など100組に、ゴーヤーとヘチマの苗を無料配布した。写真、同日は市役所で説明会を実施。苗を育てた園分中央高校園芸工学科の生徒8人が、土づくりやつるをはわせるネットの組み立て方、追肥のタイミングなどを解説した。説明を受けた参加者は、ゴーヤー4株とヘチマ2株を受け取った。

初めて挑戦するという同市園分の主婦久米村昌子さん36は「今年は特に節電が大事といわれているので、少しでもエコに貢献したい。子どもの学習にもなる」。同校3年の榎木野祐真君17は「大きく育てて、実は食べたい」と話した。

6月10日・・・南日本新聞に、ご協賛いただいている、NPO 法人緑のカーテン Project 九州の取り組みが掲載されました。

緑のカーテンづくりの啓発ポスターと谷口献児理事長



緑のカーテン広げよう

大隅地区の学校支援3年目

鹿屋のNPO

大隅地区の学校支援3年目

鹿屋市のNPO法人「緑のカーテンProject九州」の支援活動が、大隅地区の小中学校で広がりをみせている。2年前に4校で始まったつる性野菜による緑のカーテンづくりは今年11校に増え、夏の暑さ対策と環境教育に一般化している。

同法人が緑のカーテンの支援活動を始めたのは10年5月、同市西瀬川町でインテリア關係の会社を経営する谷口献児さん(81)が東京で活動している緑のカーテン広げようNPO鹿屋でも広げようNPO法人を立ち上げた。

まず、知人がいる鹿屋、吾妻、高山、垂水の小学校に「カブリやヘチマの苗と支柱、つるをはわすネット、肥料などを無償提供。夏場の日よけ対策と野菜を育てることで、子どもたちの環境、情操教育につながる」と好評を得た。

支援期間は1校当たり3年。教育委員会や役所などを通じて呼びかけの結果、11年度は志布志市や南大隅町などの3校、12年度4校が加わり、参加校は計11校と増えた。

今年、11年度緑のカーテンづくりの表彰式の吾平(鹿屋市)、高山(鹿屋市)両市の写真展、製菓カレンターを兼ねた啓蒙がスター「みどりのから」を100校作製、各小学校や役所などに配った。

当初、谷口さんが従業員と内輪で始めた活動だったが、「地球温暖化対策と子どもの健全育成を図る」との趣旨に賛同者も増え、現在、谷口さんを理事長に12人が支援活動に加わっている。

谷口さんは「私たちができることは限られているが、緑のカーテンづくりの活動も広がってほしい」と話している。

編之内巻也

1月上旬・・・市ホームページにアンケート結果報告を掲載しました。

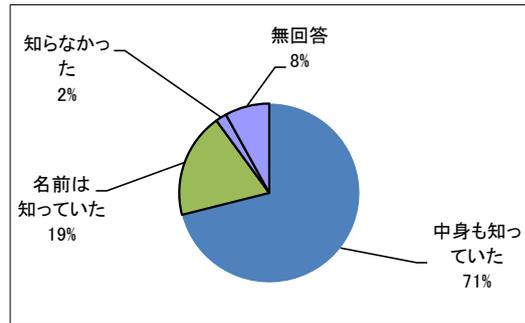
(6)アンケート結果

回収率・・・**52%**（平成23年**56%**）

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問1 緑のカーテンという言葉を知っていましたか。

中身も知っていた	37 人	71%
名前は知っていた	10 人	19%
知らなかった	1 人	2%
無回答	4 人	8%
計	52 人	100%

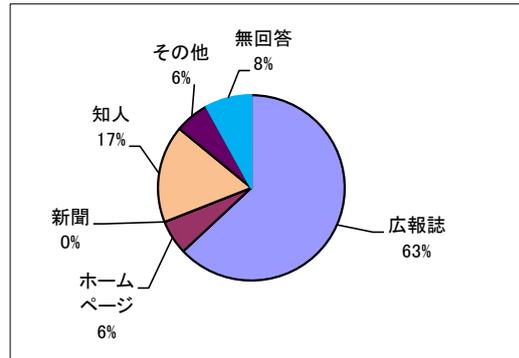


『考察』

ほぼ参加者全員が緑のカーテンを何からの情報で知っており、モデル事業参加者の認知度は高い。
(平成23年度 中身も知っていた91%、名前は知っていた9%)

質問2 今回のモデル事業を何で知りましたか。

広報誌	33 人	63%
ホームページ	3 人	6%
新聞	0 人	0%
知人	9 人	17%
その他	3 人	6%
無回答	4 人	8%
計	52 人	100%

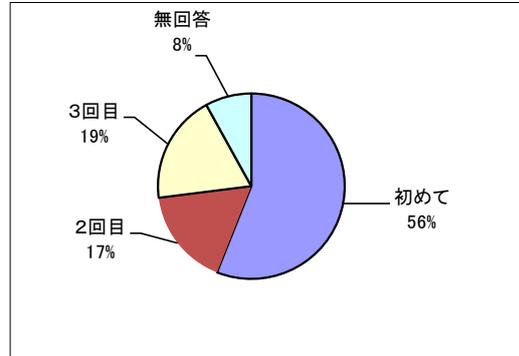


『考察』

6割弱の方々が広報誌から情報を得ている。知人から事業を知った方が増えている。
(平成23年度 広報誌77%、ホームページ14%、知人4%)

質問3 モデル事業の参加は何回目ですか。

初めて	29 人	56%
2回目	9 人	17%
3回目	10 人	19%
無回答	4 人	8%
計	52 人	100%



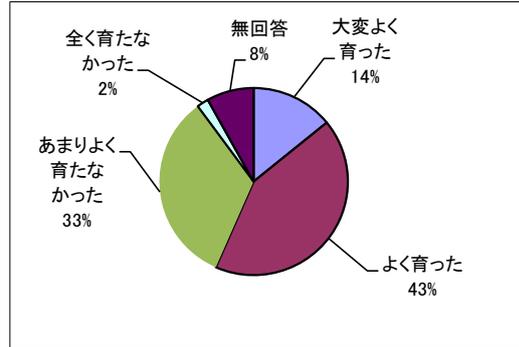
『考察』

初めての参加者が増えている。
(平成23年度 初めて43%、2回目30%、3回目27%)

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問4 育成状況を教えてください。

大変よく育った	8 人	14%
よく育った	22 人	42%
あまりよく育たなかった	17 人	33%
全く育たなかった	1 人	2%
無回答	4 人	8%
計	52 人	100%



【自由意見】

成功意見	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家より堆肥を提供していただき、入念に土づくりを行った結果、追肥もほとんど不要なほどよく育った。 ・プランター栽培で肥料も土もしっかり与えて葉も茂り涼しい部屋ができて喜びでした。 ・植付の時、肥料をこまめにあげて初期のころ葉がよく伸びて色も濃くついて花もついて楽しみを味わいました。 ・マニュアル通りに実行した結果、すばらしいカーテンが完成しました。 ・5月の植付で梅雨時期が心配でしたが、根腐れもせずよく育ちました。 ・追肥を確実に行ったので、地植えもプランターも育成状況は良かった。 ・9月22日現在もにがうりは枝を広げ実をつけています。 ・カーテンのように一面はならず、すきまはあったが実は思ったよりとれたし、それなりに日よけにもなった。 ・たくさん収穫できました。
失敗意見	<ul style="list-style-type: none"> ・7月上旬には下から葉が黄色くなり、8月上旬下半分の葉が枯れ空洞になった。8月下旬には撤去した。 ・長雨で葉が溶けて枯れた。 ・7月中旬ごろまでは順調でしたが、その後一気に枯れ始め8月末には無残な姿になってしまいました。 ・7月に生育が悪く枯れ始めた。実を収穫することはできませんでした。 ・初めのうちは葉が勢いよく茂りましたが、肥料が足りなかったのかだんだん小さな葉になりました。 ・6月までは育っていましたが、根元が枯れてきました。根元に腐葉土を足したため、調子が悪くなったようです。 ・1m近く伸びたけど葉が枯れた。園芸店で聞いたら土が悪い、病気だと言われた。 ・今年は虫が発生し、昨年よりも生育が良くなかった。 ・雨が多かったためか早々と枯れてしまった。 ・雨が多く天候不順に対応しきれなかった。 ・ほかにきゅうりやかぼちゃを植え最初は生育が良かったが、葉が白くなり病気のようなだった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・よく育ったと思うが、夏の終わる前に早々と枯れてしまった。 ・海辺のせいかわかも小さく、葉もすくなくかった。 ・後になり、小さくなり色づきが早くなったのはどうしてだろうと思いました。

『考察』

6割の方々が成功したが、4割の方々はうまくいっていない。

前年度より1割成功が少ない。長雨が影響、7・8月頃から急に枯れたという意見がみられた。

質問5 緑のカーテンを実施した箇所と実施しなかった箇所の温度を測定してください。

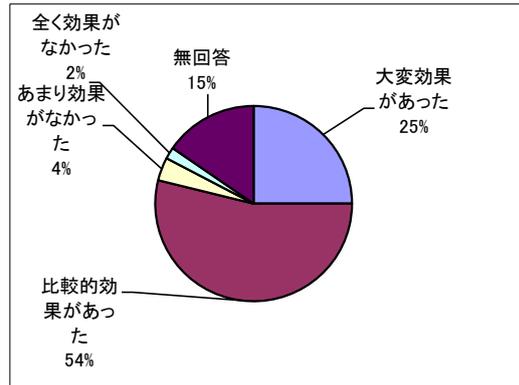
* 晴れた日の午後2時頃1回計測してください。

屋外	カーテン実施した箇所平均	34.1 度	屋内	カーテン実施した部屋平均	30.7 度
	実施しなかった箇所平均	35.7 度		実施しなかった部屋平均	32.5 度
↓			↓		
		平均温度差			平均温度差
		最大温度差			最大温度差
		▲ 1.6 度			▲ 1.8 度
		3.0 度			4.0 度

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問6 緑のカーテンの効果がありましたか。

大変効果があった	13 人	25%
比較的效果があった	28 人	54%
あまり効果がなかった	2 人	4%
全く効果がなかった	1 人	2%
無回答	8 人	15%
計	52 人	100%



【自由意見】

効果あり	<ul style="list-style-type: none"> ・白内障のため日差しが強い時、濃い緑の葉で目の紫外線対策効果が大きく助かりました。 ・緑の葉が多くなって部屋が暗くなる位で暑さがしのげました。 ・クーラーを入れずに涼しさが実感できた。 ・和室前に設置したが、一番生い茂った時には緑のカーテンが目隠しになった。吹き抜ける風が涼しかった。 ・例年寒冷紗をしないと暑さをしのげなかった職員室に緑のカーテンをしたところ大変過ごしやすくなった。 ・西日を強く受ける事務所の壁に緑のカーテンが映えて気分爽快でした。 ・室内から見た緑のカーテン、部屋の涼しさと見た目緑の涼しさ、眼と体で感じた夏でした。 ・家のカーテンは使うことがなかった。家に入る風が気持ちよかった。景色も良かった。 ・目にも涼しげで、また、内側から日差しを受け揺れる様はステキでした。 ・部屋の中から見る緑のカーテンが気分を落ち着かせてくれて癒されました。 ・温度差はなかったが、影ができることにより涼しさを感じました。 ・部屋の中から見る緑のカーテンが気分を落ち着かせてくれて癒されました。 ・犬小屋の上にも緑のカーテンを作り、愛犬がうれしそうに暑い夏を過ごしてくれた。 ・サンルームの熱が緩和され夏をしのぎきった。
効果なし	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンとしての効果はあまり感じなかったが、社員お客へのイメージアップにはつながった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・枯れてしまったため測定不能。 ・夏前に雨が多かったせいか、ゴーヤの生育が良くなく葉が黄色くなり枯れていってしまった。 ・葉が少なく、盆前にはほとんど枯れていた。 ・今回は早々に枯れてしまったが、去年は遮光効果もあり、薄緑色の部屋でくつろげた。

『考察』

8割の方々が効果があったと回答。
また、癒し効果や紫外線対策もあるとの報告があった。
ここでも早く枯れたとの報告をあげる方々が多い。

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問7 栽培するのに苦労した点、分からなかった点、工夫した点がありましたか。

【自由意見】

- ・良質堆肥の施用と、除草作業の徹底を行った。追肥は3週間に1度程度順調に成長した。
- ・梅雨時期の堆肥の仕方(雨で栄養分が流れ出て？早く枯れたのでは？)
- ・蛇口をひねればすべてのプランターに水がかかるように工夫しました。
- ・初めは勢いが良く実も良くできたのですが、後は虫がついて早く枯れてしまってどうしていいかわからず心配しました。早めに切り取って次の芽が出ました。
- ・昨年も参加してやり方はわかっていたので今年は肥料等の与え方に気をつけました。
- ・元肥を忘れたので、ゴーヤの大きさが20cm以内でした。追肥をマメにしたので、数量は多くできて楽しめました。
- ・野菜作りが初心者のため、なかなかその都度に合った対応ができなかった。主人の母など昔から野菜づくりをしている人の知恵を借りて枯れかけた苗がよみがえったりして、マニュアルにはない工夫も教えてもらった。
- ・昨年よりも追肥をまめに行ったので、成長も早く、緑の生い茂っている期間も長かった。
- ・長雨に対する策がとれなかった。
- ・教えていただいた通り育てました。葉も広がり、実もよくなりました。
- ・過去2年、定植直後に枯れたり、定植後1か月程度で枯れたりと残念な思いをしていましたので、今年は特に水やりを徹底したのが良かったと思います。
- ・夏前に雨が多かったせいか、ゴーヤの生育が良くなく、葉が黄色になり枯れていってしまいました。今年ゴーヤは根腐れみたいになったのはなぜでしょうか。
- ・地植えにし、定期的に追肥した。
- ・毎日の水かけが大変。肥料のやりすぎで枯れたのかな？とも思いました。
- ・初め水やりが少なく生育不足となった。
- ・初めは順調だったが、プランターに植えたからなのか、大きくならず(長雨のせいかな?)実まで取ることはできなかった。
- ・プランターは伸びても早めに枯れてしまいました。(水やりと追肥が不足の点もあり)
- ・梅雨が長くて7月20日頃下葉が枯れ始めた。
- ・プランターに植えたせいか、あまり成長しなかったです。
- ・下の葉が黄色っぽくなり、水分が足りないのか肥料が足りないのかわからなかった。追肥をし、土寄せしたら元気が出たようで良かった。
- ・地下植えの土は石だらけの植物を植えるのに適さないところだったが、堆肥を入れたり元肥、追肥の加減がうまくいった。
- ・こまめに除草した。
- ・長く緑を保つためにはどうしたらいいのか知りたかったです。
- ・追肥をやるよう心掛けた。
- ・なめくじを毎朝夕取った。
- ・8月半ば頃収穫できたが、大きくなりきらないで黄色になってしまうものもあった。
- ・二階のひさし部分からロープで下げて支える棒がないので、風が強いと大きく揺れてしまう。
- ・プランターより地植えが良いと聞き、今回は地植えにしたが、それが悪かったのか・・・
- ・地植えはまあまあだったが、プランターはうまくいかなかった。
- ・あまり効果がでなかった結果がなぜか考えまた来年トライしたい。
- ・毎日の水やりが真夏は大変でした。雨が降った日も軒先でしたから、水管理は必要でした。
- ・8月の終わりごろに元気がなくなった。台風シーズンや暑すぎる夏が育てるのに苦労した。

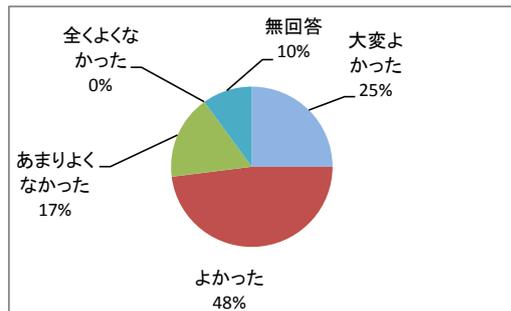
『考察』

初期の勢いは良いが、その後が続かなかったとの意見が多い。
また、水やりと追肥の管理が難しいとの意見も多い。
地植えに挑戦された方がいるが、連作障害も懸念される。

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問8 取組全体の感想を教えてください。

大変よかった	13 人	25%
よかった	25 人	48%
あまりよくなかった	9 人	17%
全くよくなかった	0 人	0%
無回答	5 人	10%
計	52 人	100%



【自由意見】

- ・会社で収穫したゴーヤ、ヘチマはとてもおいしいと社員、家族から大変喜ばれました。
- ・一人暮らしのため、始めた時は食べきれないくらい実が取れて、近所におすそ分けしてあげたりしながら皆さんで栽培の楽しみを味わいました。
- ・去年よりも葉も多くて、緑のカーテンの効果が大きくて助かりました。取り立てののがうりをたくさん食べて夏バテ防止ができました。
- ・グリーンカーテンが主だが、ゴーヤなどの実がなり、収穫もとても楽しかった。子供たちもすべての過程を毎日目にして、愛着が沸いたようでした。
- ・今年はヒョウタンでも取り組んでみて、児童も興味を持って観察していたので、来年は他のつる性植物にもチャレンジしてみたい。
- ・ヘチマは食べる程実が入っていなかったのので、来年はゴーヤのみでも良いかなと考えてます。
- ・良い経験ができました。頂いたプランターは現在ブロッコリーを育てています。ありがとうございました。
- ・植物が元気に育つこと、緑の環境が広がる様を見ることができただけでも、心の癒しにつながりました。
- ・ツルをきれいに伸ばしていくことが難しかったです。ツルを引っ張ってきても途中で勢いがなくなり、穴あき状態になってしまったり・・・うまくいきませんでした。
- ・鉢底がコンクリートのところは下に何か敷いたほうが良いのでしょうか。
- ・あまり育て方はうまくできなかったが、工夫してまたチャレンジしてみたいです。
- ・野菜作り一年生でしたので、収穫の喜びは格別でした。一度もお店で買うことなく家族に喜ばれ、来年はもっとたくさん収穫ができて近所にも差し上げられたらと思います。
- ・家の中から窓を開けるのが楽しみでした。緑はやはり心が落ち着きます。
- ・もっと管理を良くすべきだった。
- ・緑が伸びて行く過程はよく、部屋から見える緑もきれいでよかった。取組全体は良かったが、面白かった。
- ・来年はゴーヤ、ヘチマではなく、朝顔で再度挑戦してみたい。
- ・来年はしっかり育てていきたいと思っています。
- ・初めての取組だったが、カーテンも収穫も楽しかった。しかし、カーテンは思ったより薄かったのので、つるが伸びる時、人間の手でうまく誘導すれば良かったのかと反省。
- ・ヘチマやゴーヤ料理も紹介してください！ちなみにゴーヤの天ぷらおいしかったです。
- ・7月はほこってとてもきれいでしたが、8月暑い時期少し枯れてきて朝顔を1プランターに2本ずつ植えてゴーヤと朝顔のカーテンとなり枯れてた課所を朝顔の葉がカバーしてくれてお花も咲ききれいでした。
- ・毎年行ってくると、あるのが当たり前という感じになります。継続することが大事なかなと思います。
- ・緑は暑さ対策にはとても有効だと思う。
- ・初めてでしたので、何かと知人とも話題にもなりました。勉強です。
- ・説明も楽しく聞けた。苗も材料も大変ありがたかった。ヘチマもニガゴリもおいしくいただけ、家族で楽しめた。

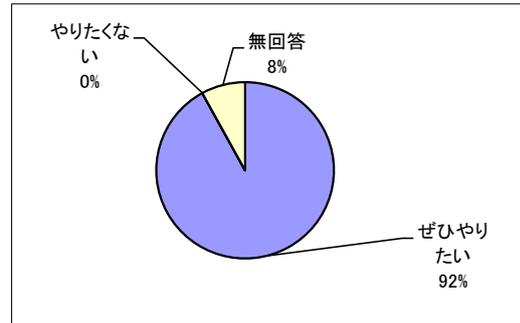
『考察』

ほとんどの参加者がよかったと回答している。毎日の管理や収穫の喜びを感じる意見が多い。また、ご近所へのPR効果もあり、会話も増えて良かったとの意見があった。

平成24年度霧島市「緑のカーテン」モデル事業アンケート結果

質問9 来年もやりたいと思いましたか。

ぜひやりたい	48 人	92%
やりたくない	0 人	0%
無回答	4 人	8%
計	52 人	100%



問1 雄花はたくさん咲くのですが、雌花がなかなか少なくて雄花が落ちてしまいます。

答1 雌花が少ない理由の一つとして、ヘチマやニガウリの樹の勢いが良すぎるのが考えられます。肥料の量を若干少なくしてみてください。

問2 下の方の葉は大きな葉がついていますが、上の方は小さな葉ばかりなのですが、肥料が足りないのでしょうか。

答2 葉の大きさよりは葉の色で肥料の量が不足しているのか、足りているのかを判断してください。緑の色が薄い、あるいは黄色みがかっていれば、肥料不足と判断して、早めに追肥をした方が良いでしょう。

問3 4月の説明会では肥料はプランターの四隅に少しずつでしたが、そのくらいでいいのでしょうか。

答3 ヘチマやニガウリといったウリ科の植物は根を土の表面の近いところへ、広い範囲で広がっていく傾向があります。ですので、プランターに植えている場合は、肥料をプランターの側面に沿って置いていくといいでしょう。

問4 孫ツルが沢山ありますが、それは摘心した方がいいのでしょうか。

答4 子ツルや孫ツルは、自分で緑のカーテンとして広げたい範囲を考えながら適宜、摘心をしていったほうが良いと考えられます。

問5 葉が白くなり枯れてきました。

答5 うどんこ病ではないでしょうか。雨上がりの晴れたあと、湿気の多さが影響して葉が白くなり、枯れてしまうことがあります。風通しをよくすることが対処方法になりますが、状況が良くならないようであれば、市販の薬剤をかけて対応するか、白くなった葉を取り除くことが有効です。

問6 ゴーヤの花は咲いたけれど、実がならないのですが。

答6 梅雨時期の低温・日照不足等により、花が咲いても結実しないことがあります。ゴーヤには雌花と雄花があり、普通はチョウやミツバチなどが受粉を行ってくれます。周囲に虫がいない環境では受粉できていないことも考えられます。

問7 緑のカーテンは取り付けたままにはできませんか。

答7 夏が過ぎると枯れてしまうので、1年ごとに取り外してください。同じ土のまま何度も植物は育たないので、土も取り替えるか、再使用できるように処理をしてください。

松久保俊明先生のワンポイントアドバイス！

(国分中央高等学校園芸工学科教諭)

◎水やりの方法

水やりの時間は、気温の高くなる日中を避けて、朝夕の涼しいうちにしたほうがよいです。水やりの量は、プランターで栽培している場合、土の表面が白っぽく乾いたら下の排水口から水が出てくるくらいたっぷりとあげましょう。梅雨の時期は雨で土に含まれている水の量が多すぎて根腐れが発生しやすくなります。この時期はプランターの底の一方側にレンガなどを敷いて傾けておき、強制的に排水してあげると良いでしょう。

なお、プランターの土は表面が硬くなりやすい条件にあります。土の表面にワラなどを薄く敷いてあげると、土が硬くなることが防げるのではないのでしょうか。たまに、プランターの横から軽くたたいて、土をほぐしてあげると、水はけは一段と良くなると思います。

最後に、緑のカーテンを設置する場所は、とても日当たりの良いところです。カーテンが出来上がるまでの期間、日中は土、プランターどちらも、直射日光が当たるため、かなりの高い温度を保ったままの状態になってしまいます。そこで、プランターに一工夫してみてもどうでしょうか。例えば、プランターの外側にアルミホイルのような銀紙を張ってあげるので。すると、温度の上昇も防げるほか、アブラムシ等の害虫が寄ってこないといった効果も得られます。

◎肥料のやり方について

肥料を与える前に、注意することがあります。それはプランター栽培の場合も、地植え栽培の場合も出来るだけ、毎年土を入れ替えてあげることです。何年もプランター栽培で利用した土を続けて使ってしまうと、生育は極端に悪くなります。地植えの場合も冬場に掘り起こして寒さに当てておくことや堆肥を混ぜて土作りをしておくことが大切です。

さて、肥料についてですが、肥料には様々な種類があります。出来ればゆっくりと肥料分が溶け出していくような「緩行性の肥料」が良いと思います。肥料の量は肥料の粒の大きさにもよりますが、追肥の場合（2週間日おきが目安）1回につきスプーン2杯程度が限度でしょう。やりすぎに注意してください。また、肥料は土に混ぜるようにしてください。時期によって「元気がなくなったな」「早く肥料を効かせたいな」と感じたら、1000倍くらいの液体肥料を水やり代わりに与えても良いのではないのでしょうか。

◎ツルの摘み方

先に伸びようとするツルの先端が多すぎると、植物は疲れてしまいます。目標の高さや広さに達したら、ツルの数を制限するために先端部分を随時摘んであげましょう。すると、元気のいいツルが葉の付け根より出てきます。葉の密度が高い緑のカーテンができあがることでしょう。なお、ツルを摘む場合は、摘んだ後の切り口が乾くように天気の良い日を選んでください。

◎親ツルと子ツルの見分け方

基本的に親ツルの葉の付け根から出てきているツルが子ツルです。その子ツルの付け根から出てきているツルが孫ツルです。ヘチマやゴーヤは子ツルや孫ツルの葉の付け根に雌花が着きやすい性質を持っています。実の収穫する量と葉を茂らせる面積とがバランスよくなるように、生育状態を観察しながら、先ほど述べたツルの先端を摘む事（摘心）を行ってください。なお、あまり細かく子ツルや孫ツルを見分けて管理していく必要はないと思います。

◎長持ちできる緑のカーテンに最適な植物

全国各地で緑のカーテンに利用されている植物は多岐にわたっているようです。「今後、利用されてみては」と考える植物を下に上げてみます。参考になさってください。

（果実を収穫出来る楽しみのある植物として）

- ・ヘチマ
- ・ゴーヤ
- ・大長ササゲ
- ・シカクマメ
- ・ヒョウタン

（花を楽しむ植物として）

- ・ヨルガオ（夕顔）、
- ・オーシャンブルー（宿根性アサガオ）、
- ・フウセンカズラ、
- ・ブーゲンビリア



今後とも、高校生の生徒達とともに「緑のカーテン」事業へ協力させていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【取組事例写真】



H・Rさん宅



Mさん宅





H・Mさん宅



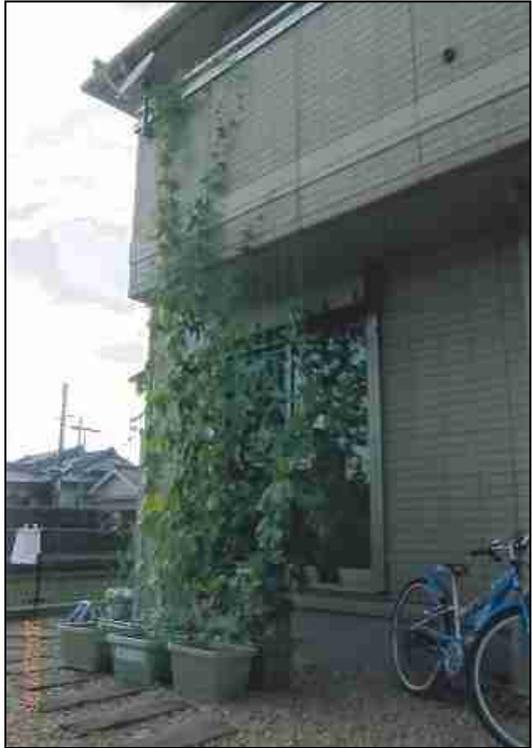
F・Fさん宅



F・Kさん宅



Eさん宅



Kさん宅

【取組事例写真】



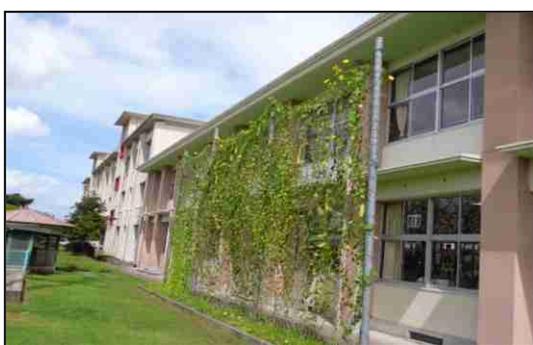
福山中学校



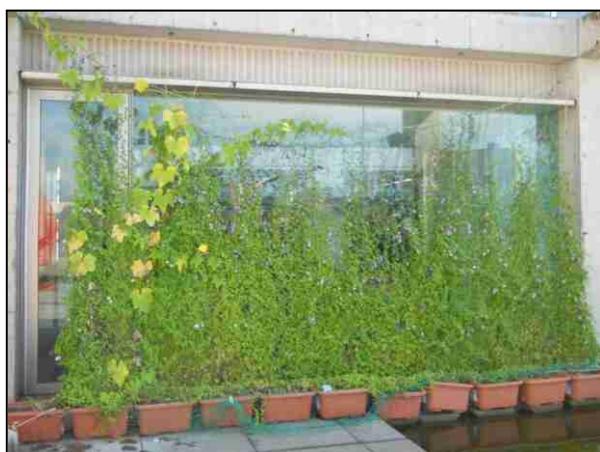
牧之原中学校



国分南中学校



上小川小学校



霧島市役所国分庁舎

